

放課後の安心・安全な 子どもたちの居場所づくり



全ての市立小学校で実施している「太陽の広場」事業と「留守家庭児童育成室」事業を紹介します。
 図 青少年室(TEL6816・9890 FAX6816・8554)か、
 放課後子ども育成課(TEL6384・1599)

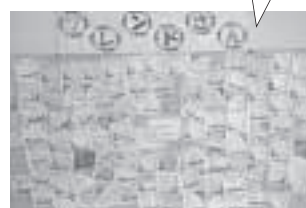
太陽の広場

「地域の子どもは地域で守り育てる」をキーワードに、水曜日の放課後を中心に小学校の運動場や余裕教室を利用して1~6年生の全児童を対象に実施しています。各中学校区の地域の諸団体が構成される地域教育協議会に運営を委託し、子どもたちは「フレンドさん」と呼ばれる地域のボランティアが見守る中、いきいきと運動場で遊んだり友達と一緒に宿題をしたりしています。

平成28年度からは、読み聞かせや工作、囲碁・将棋、スポーツなどさまざまな体験活動を提供する「活動プログラム」を実施しています。



子どもたちからフレンドさんへ感謝のメッセージがたくさん届いています



ダンス遊びをする子どもたち

留守家庭児童育成室

保護者の就労などで、放課後を子どもだけで過ごす1~3年生の児童を対象に、家庭に代わる生活の場を提供しています。子どもたちは指導員のもとで宿題をしたり、遊んだりしながら、帰るまでの時間を過ごしています。平日の放課後と夏休みなど長期休業期間中に開室しています。

平成29年度から対象を4年生まで拡大します。

それぞれの目的や実施主体は違いますが、「留守家庭児童育成室」の児童も「太陽の広場」の活動プログラムに参加できる、一体型での事業実施に取り組んでいます。

人権標語

(じんけん作品集より)
学校名・学年は昨年度

ふみ出そう いじめを止める その1歩
 認め合う 十人十色 自分色
 いのちとは 一人一つの たからもの

第六中学校3年 西川凜
 関西大学第一中学校1年 吉國音彩
 吹田南小学校3年 神尾彩乃

教育理念 第54号
 今 吹田から未来の力を
 生命かがやき ともにつながり
 未来を拓く吹田の教育

教育 だより

平成29年(2017年)3月1日
 発行 吹田市教育委員会
 朝日町3・408 TEL6155・8084

つながりを大切にする吹田の教育

吹田の教育は、学校と家庭・地域をはじめとした、さまざまなつながりを大切にしています。学校と家庭を福祉でつなぐスクールソーシャルワーカーの取り組みと、今年度から始まった小学校と中学校をつなぐ英語体験活動の取り組みを紹介します。図 指導室(朝日町TEL6155・8207 FAX6155・8872)

学校と家庭を福祉でつなぐ

SSW (スクールソーシャルワーカー)

いじめ・不登校・児童虐待などの課題を抱える子どもへのケアや課題の早期解決のために、福祉の専門的な視点をもつSSWを各小中学校に配置しています。

SSWは、子どもの様子や情報をもとに、教員やスクールカウンセラーなどとチームを組んで対応を協議し、学校や家庭への支援を行います。

今年度は配置時間が増え、学校・家庭と子ども家庭センターなどの関係機関とのつながりを強化しながら課題解決に取り組んでいます。



事例をSSWで検討する様子

NEW 小学校と中学校をつなぐ

英語体験活動

1月から、全市立小学校の6年生がEXPOCITY内にあるOsaka English Villageで英語コミュニケーション体験を行う取り組みを始めました。授業ではできない日常生活のシチュエーションでインストラクターと英語だけでやりとりし、表現方法やコミュニケーションのとり方を体験します。「自分の思いが英語で相手に伝わった」「相手の思いが理解できた」と満足感や達成感を持たせることで、学習意欲の向上を図ります。また、小学校での外国語活動から、中学校での英語学習へとスムーズにつなげることをねらいとしています。

OEVニュースルーム

プロデューサー役 “Action!”
(アクション!)

キャスター役 “How is the weather?”
(天気はどうですか?)

レポーター役 “It's sunny!”
(晴れです!)

すっかり役になりきって、英語もスムーズに話せています。

英語でニュースを伝えることができた



ダイナソーパーク

インストラクターから説明を受けたのち、みんなで協力して、恐竜の化石をブラシを使って探し出します。「sand(砂)」「brush(ブラシ)」などの単語も覚えました。



インストラクターの英語がわかった!